

第73回
特別展
還暦記念展

六十年のあゆみと、 とっときコレクション大公開



当館は、1952年（昭和27年）7月20日に博物館としてスタートし、今年是人で言うところの還暦を迎えます。60年間の活動の記録を写真やパネルで紹介し、そして、数ある収藏品の中から、オヤッ、これは何だろう？ これは珍しい！これはなつかしい！！といった、とっておきの標本を選んで展示・解説します。ふだん目にする機会のない珍しい標本が、あなたの知的好奇心をくすぐります。

例えば…こんな標本を展示します。

なつかしい！

あの時のひとコマ

過去の行事などの写真を掲示します。博物館の行事に参加した思い出のある方、ぜひあの時のあなたをさがしてみてください。



タイマイ



美しい鱗板をべっ甲として装飾加工品の材料にするため乱獲され、絶滅が心配されています。福井市三里浜に漂着した、甲長が23cmと、甲長が8.6cmの剥製を展示します。10cm以下の個体が日本海で見つかるのは珍しい事例です。

サツマイモの花



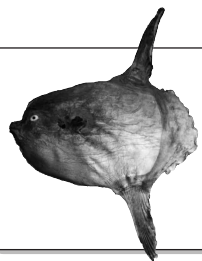
福井県ではサツマイモは栽培できますが、その花はめったに見ることはありません。なぜならサツマイモの花は冬であり本州以北では冬の寒さを乗り切れずに枯れてしまうからです。1996年に福井市内の畑で咲いた花の標本です。

アンモナイト コドユークセラス・ヨコヤマイ



開館以来長らく当館の“看板化石”だったアンモナイト。この種は世界でも大野市(旧和泉村)からしか見つかっていませんでしたが、最近チベットからも同種が発見されました。福井とチベットの大昔の様子を明らかにする可能性を秘めたアンモナイトです。

マンボウ



風変わりな体型とおちょぼ口が何ともユーモラスな魚です。越前海岸沖で1966年に採集され、当時博物館で剥製に仕上げた体長1.1mの標本です。

テズルモズル



何やら呪文のような名前。クモヒトデの仲間、5本の腕が何度も枝分かれして、まるでツル植物のような体つきです。この腕を広げ海中のプランクトンなどをつかまえます。

クロメンガタスズメ



鳥ではありません。ガの一種で、背中に“ドクロ模様”があることで知られています。南方系のガですが、最近は福井県内でも見かけるようになってきました。幼虫も展示します。

ミヤマクワガタの雌雄型



右半分がメス、左半分がオスのミヤマクワガタです。自然界では、数万個に1個体しか発生しないとされるほど稀な個体です。1979年に、小学生と高校生によって福井市(旧美山町)で発見された標本です。

関連

イベント



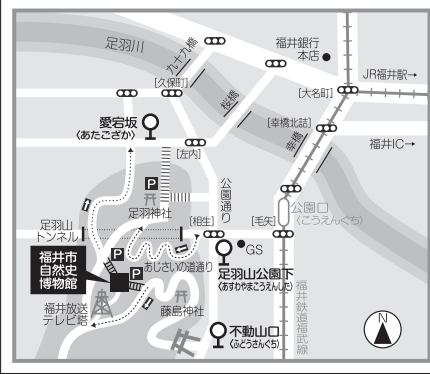
キッズのためのクイズ (中学生以下)
特別展を見ながらクイズにチャレンジ。正解者にはプレゼントがあります。



60歳の方にもラッキーチャンス！誕生年ビンゴ賞
お誕生日が、自然史博物館の創立年とピタリ同じ、昭和27年(1952年)生まれの方には、オリジナル・ポストカードセットを差し上げます。免許証、あるいは保険証などの証明書をご提示ください。



資料と映像で振り返る「福井復興博覧会」
当館は、昭和27年4月から6月に開催された「福井復興博覧会」の第二会場として建てられました。博覧会の模様を記録映像(約6分)でご覧頂けます。
*なお平日は、団体向けに、記録映画「福井復興博覧会の記録」などを上映できます(事前の申し込みが必要です)。



交通案内

- 電車**
福井鉄道福武線 公園口下車 徒歩20分
- バス**
京福バス：清水グリーンライン (74系統)
足羽山公園下・不動山口バス停 徒歩10分
コミュニティバスまいる：西ルート(足羽・照手方面) 愛宕坂バス停 徒歩約10分
- 徒歩**
JR福井駅から徒歩約30分

※「ふくい春まつり」の期間中(4月1日~22日)は観光周遊バス「さくら号」が運行します。
※また、お花見期間中は交通規制があります。詳しくはお問い合わせください。

ご利用案内

- 開館時間**
午前9時~午後5時15分
(入館は午後4時45分まで)
- 会期中の休館日**
3月19日、21日、26日
4月2日、9日、16日、23日
5月1日、7日

- 入館料**
100円(高校生以上)
(20名以上の団体は半額)
*中学生以下・70歳以上・障害者
および付添の方は無料
- ※3月18日と4月15日は「家庭の日」により無料

詳しくはこちらにお問い合わせください

ふくいししぜんしはくぶつかん
福井市自然史博物館
〒918-8006 福井市足羽上町147 TEL: 0776-35-2844
http://www.nature.museum.city.fukui.fukui.jp